

2015 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	日本語日本文学科
	科 目

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

全科目の平均値で見ると、①「授業内容が理解できた」が 4.25 (4.16=全学)、②「授業に意欲的に取り組んだ」が 4.19 (4.14=全学)、③「知的好奇心が刺激されたか」が 4.22 (4.09=全学) と高い評価となっている。他の項目は概ね全学平均と大差ないが、④「授業外学習」だけは 0.58 (0.70=全学) と低いのは例年の傾向である。特に、演習系の授業でありながら授業外学習時間の少ない科目が一部あるのは問題である。Manabe の利用などを通じ、人数が多くても各人に課題を行わせ適切に指導する工夫が必要である。

科目ごとに見ても、「時間外学習」と「レベル」を除いた評価項目の平均では 99 科目中 83 科目は 4.0 を超えている。ただ日本語学、近代文学などの科目の一部にやや評価の低いものがあるが、科目内容の多様性確保の観点からはやむを得ない範囲と思われる。

DWCLA10 では、思考力と分析力、創造力、プレゼンテーション力が身についたという学生が他学科と比較して多い一方、「思いやる力」「自己実現力」はやや少なめである。ある程度は、学科の特性から来るものと思われる。

総じて、現存する科目については大きな問題はないが、現在はないタイプの授業が必要かどうかについては検討の余地があると言えよう。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。